

令和6年度 授業計画 (シラバス)

科目名	看護総合Ⅰ (看護管理・医療安全)	科目区分	専門分野	授業の方法	講義
対象学年	3 学年	単位(時間)	1 (20/30)	開講時期	3 年後期
担当教員： 非常勤講師					
<p>《科目目標》</p> <p>医療を取り巻く社会環境の変化と、そこにおける看護の位置づけを学ぶと共に、チーム医療及び多職種との協働の中でメンバーシップ、リーダーシップを理解する。</p> <p>また医療事故が起る過程とそれを防止する対策を理解する。</p>					
<p>《成績評価の方法》</p> <p>筆記試験</p>					
<p>《使用教材 (教科書) 及び参考図書》</p> <p>ナーシンググラフィカ 看護の統合と実践① 看護管理 メディカ出版          ナーシンググラフィカ 看護の統合と実践② 医療安全 メディカ出版</p>					
《授業外における学習方法》					
《履修に当たっての留意点》					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	看護管理① 社会の変化と看護師の役割、協働、リーダーシップ			講義
2	2	看護管理② 看護マネジメント			講義
3	2	看護管理③ 組織で取り組む看護活動 看護の質向上のための取り組み、看護と経営			講義
4	2	看護管理④ 業務マネジメント、セルフマネジメント			講義
5	2	看護管理⑤ 看護専門職とキャリア 看護現場に影響を与える制度と法律			講義
6	2	医療安全と看護の理念			講義
7	2	医療安全への取り組みと医療の質の評価			講義
8	2	事故発生のメカニズムとリスクマネジメント			講義
9	2	看護業務に関連する事故と安全対策①			講義
10	2	看護業務に関連する事項を安全対策②			講義

令和6年度 授業計画 (シラバス)

科目名	看護総合 I (看護倫理)	科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習
対象学年	3 学年	単位 (時間)	1 (10/30)	開講時期	3 年後期
<p>担当教員： 専任教員 <span style="float:right">実務経験のある教員による授業 <input checked="" type="checkbox"/></span></p> <p>看護師として実務経験のある教員が、その経験を活かし実践的な事例を含めた講義・演習を行っている。</p>					
<p>《科目目標》</p> <p>学習目標： 1. 看護における倫理の必要性について学ぶ。                  2. 看護倫理に関する基本的知識を理解する。                  3. 事例分析を通して、適切で倫理的な意思決定と行動について学ぶ。</p>					
<p>《成績評価の方法》</p> <p>レポート</p>					
<p>《使用教材 (教科書) 及び参考図書》</p> <p>ナーシンググラフィカ 基礎看護学① 看護学概論</p>					
<p>《授業外における学習方法》</p>					
<p>《履修に当たっての留意点》</p>					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	授業ガイダンス			講義・演習
2	2	患者権利宣言、倫理とは、倫理的行動とは、看護職の倫理綱領			
3	2	看護倫理の実践とは			講義・演習
4	2	事例分析①、②、③			
5	2	まとめ			講義

令和6年度 授業計画 (シラバス)

科目名	看護総合Ⅱ (国際・災害看護)	科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習
対象学年	3 学年	単位(時間)	1 (15)	開講時期	3 年後期
<p>担当教員： 専任教員 <span style="float:right">実務経験のある教員による授業 <input checked="" type="checkbox"/></span></p> <p>看護師として実務経験のある教員が、その経験を活かし実践的な事例を含めた講義・演習を行っている。</p>					
<p>《科目目標》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際的にどのような健康問題が課題になっているかを理解し、国際看護の基本理念を理解し、その方法を考える。</li> <li>2. 災害が生活に及ぼす影響を理解し、災害直後から支援できる看護の基礎的知識を理解する。</li> </ol>					
<p>《成績評価の方法》</p> <p>筆記試験・レポート</p>					
<p>《使用教材 (教科書) 及び参考図書》</p> <p>ナーシンググラフィカ 看護の統合と実践③ 災害看護 メディカ出版                  参考文献：系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践〔3〕災害看護学・国際看護学 医学書院</p>					
<p>《授業外における学習方法》</p>					
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>日頃起こっている災害から思うことや自身の考えを持ちながら授業に臨んでほしい</p>					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	災害看護学の定義・災害の種類と健康被害・災害と倫理			講義
2	1	災害医療に関する国の政策・災害医療に関する法律			講義
3	2	災害医療活動の特徴			講義・演習
4	2	配慮を必要とする人への看護			講義・演習
5	2	被災者と支援者の心理の理解と援助			講義・演習
6	2	防災・減災マネジメント			講義・演習
7	2	国際看護学の定義・グローバルヘルス			講義・演習
8	2	国際協力のしくみ・開発協力と看護の実際			講義・演習

令和6年度 授業計画（シラバス）

科目名	看護研究演習	科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習
対象学年	3 学年	単位(時間)	1 (30)	開講時期	3 年全期
<b>担当教員：</b> 専任教員 <b>実務経験のある教員による授業</b> <input checked="" type="checkbox"/> 看護研究実績の経験をもとに、看護研究の意義から研究の発表までを教授している。					
<b>《科目目標》</b> 実践した看護の中から課題を見出し、ケーススタディとしてまとめる。この過程を通して、文献の活用、倫理的配慮、科学的・論理的なものの見方や考え方を学び、自己の看護観を深め、研究の基礎能力を身につける。					
<b>《成績評価の方法》</b> 論文・発表に対する看護研究演習評価表（ルーブリック）に基づいて評価する					
<b>《使用教材（教科書）及び参考図書》</b> はじめて学ぶケーススタディ 総合医学社 ナーシンググラフィカ 基礎看護学④ 看護研究					
<b>《授業外における学習方法》</b>					
<b>《履修に当たっての留意点》</b>					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	1. 看護研究の意義と目的 2. 研究の種類及び方法			講義
2	2	3. 看護研究のプロセス 4. 研究計画書の作成			講義・演習
3	2	5. 文献検索について			講義・演習
4	2	論文・抄録の作成、発表、評価など			講義・演習
5	2	6. 研究の実際 1) ケーススタディの完成 2) 抄録の作成 3) スライドによる発表準備			講義・演習
6	2	4) ケーススタディの発表・講評			演習
7	2				
8	2				
9	2				
10	2				
11	2				
12	2				
13	2				
14	2				
15	2				

令和6年度 授業計画 (シラバス)

科目名	総合演習	科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習
対象学年	2 学年	単位(時間)	1 (30)	開講時期	2 年後期
<b>担当教員：</b> 専任教員 <b>実務経験のある教員による授業</b> <input checked="" type="checkbox"/> 看護師として実務経験のある教員が、その経験を活かし実践的な事例を想定し講義を行っている					
<b>《科目目標》</b> 看護を統合的にとらえ、臨床判断能力、自己学習力を培い、自らの課題を明らかにする。シミュレーションの経験を通して、学習者が振り返り、検証することによって専門的な知識・技術・態度の統合を図る。学習者同士の情報の共有・協力・調整する力を身につける。					
<b>《成績評価の方法》</b> 課題の評価表（ルーブリック）に基づき評価する					
<b>《使用教材（教科書）及び参考図書》</b> 動画による事例					
<b>《授業外における学習方法》</b>					
<b>《履修に当たっての留意点》</b> 事前学習を十分に行って授業に臨む					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	オリエンテーション 事例1：高血圧症患者の意識障害 ・場面①からの気づき			講義 演習
2	2	・場面①から必要な観察と対処 ・場面②の看護師の行動を意味づける			演習
3	2	・場面②から疑われる病態、検査・治療を予測する			演習
4	2	・場面③から疾患・検査・治療を理解する			演習
5	2	事例2：COPD 患者の呼吸困難 ・場面①②からの気づき			演習
6	2	・場面①②から必要な観察と対処 ・病態を理解し、看護師の行動を意味づける、合併症を予測する ・場面③から病態理解と検査・治療を予測する、看護師の行動を意味づける			演習
7	2	・場面④から治療を理解する			演習
8	2	事例3：胃切除術後1日目 ・術後1日目の行動計画を組み立てる ・対象の状況を予期する			演習
9	2	・訪室前・訪室時にどのような情報を得るか			演習
10	2	・シミュレーション1回目（5分間の訪室）			演習
11	2	・シミュレーションの振り返り（気づき・解釈・反応・省察）①			
12	2	・シミュレーションの振り返り（気づき・解釈・反応・省察）②			演習
13	2	・シミュレーション2回目（5分間の訪室）			演習
14	2	・シミュレーションの振り返り（気づき・解釈・反応・省察） ・術後1日目の行動計画修正①			
15	2	・術後1日目の行動計画修正② まとめ			演習

令和6年度 授業計画 (シラバス)

科目名	総合実習	科目区分	専門分野	授業の方法	実習
対象学年	3 学年	単位(時間)	3 (135)	開講時期	3 年後期
担当教員： 専任教員		実務経験のある教員による授業			☑
病棟での看護業務に携わった教員及び臨床看護師が教授している					
<p>《科目目標》</p> <p>複数患者の退院後を見据えた情報を収集し、メンバーと協力し計画的に援助することを学ぶ。受け持ち患者の優先順位を考え、多重課題への対応も話し合いながら、その時々に応じた状況を捉え、判断し実践につながるような思考を身につけていく。実施後には1つ1つの現象からリフレクション（気づき・解釈・反応・省察）し実践する力につなげていく。</p> <p>学内実習および複数受け持ち・同行・夜間実習を通し、チーム内でのリーダーシップやメンバーシップ、役割遂行や多職種連携を学ぶ。また多職種連携から看護師の役割について考える。看護管理としてミドルマネージャーである師長が部署の責任者として他部門との連携・調整をどのように行っているのか、またチームを率いるリーダーがリーダーシップ役割をどのように果たし、チームを有効に機能させているのか学ぶ機会を持つ。そして総合実習が3年間の自分の看護を統合でき、これからの自分の看護に繋がることを願っている。</p>					
<p>《成績評価の方法》</p> <p>実習評価表に基づき評価する。</p>					
<p>《使用教材（教科書）及び参考図書》</p> <p>ナーシンググラフィカ 看護学概論・看護管理 メディカ出版</p>					
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>実習する病棟の特徴を理解し、疾患・看護の事前学習を行う</p>					
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>チームで取り組む実習であるため、グループでコミュニケーションを密に行い、情報の共有を図っていく。</p>					
<b>実習プログラム</b>					
実習期間	3 学年 10 月～12 月				
時間数	合計 135 時間				
実習内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. チームで複数患者を受け持ち、患者の1日の生活リズムを考えながら、病態、治療を踏まえ、退院後を見据えた看護計画を立案し、計画的に援助ができる。</li> <li>2. 1つ1つの現象からリフレクション（気づき・解釈・反応・省察）し、自己の看護実践について考え、判断していく能力を高めていく。 実習前後における自己の成長について振り返り、到達度・達成度について考え、これからの課題を明らかにする。</li> <li>3. 学生のチーム内でリーダー・メンバーを行い、それぞれの役割を果たしながら看護が実施できる。</li> <li>4. 同行・夜間実習からチーム内でのリーダーシップやメンバーシップを学ぶ。</li> <li>5. 同行や夜間実習から看護援助の実際を理解する。</li> <li>6. 多職種連携について理解する。</li> <li>7. 看護管理について病棟師長から部署の管理者として多職種との連携・調整の実際について話を聞き学ぶ。</li> <li>8. 実習での学びから自分の考える複数患者への看護実践について述べるができる。</li> </ol>				